

石川県一仮想の学校「平和町高校」

生徒発のふるさと学習を 教科横断的にアプローチ。

取材・文／梶原千歳（本誌）

文科省の新学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」が掲げられ、「総合的な探究の時間」では、「地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組」が推進されます。また、主体的・対話的で深い学びの観点から「何を学ぶか」とともに「どのように学ぶか」も重視して授業を改善することが謳われています。

今夏、石川県加賀市で「加州大聖寺藩 参勤交代うおーく2019」が開催されました。3年前、石川県立加賀聖城高校（夜間定時制）の生徒が、ふるさと学習を進めるなかで「大聖寺藩の参勤交代を再現したい！」と夢を抱いたことが始まりです。

加賀聖城高校の小谷邦博先生（地歴公民）は、「本校を含む加賀市の公立高校すべてが定員割れを起こしています。隣の小松市へ進学していくんです。私は「学校こそ地域文化の発信地であるべきだ」と信じて教員生活を送ってきました。社会が変化するなかで、定時制高校の存在意



加州大聖寺藩 参勤交代うおーく2019。

加州大聖寺藩 参勤交代うおーく2019

東京・日本橋から石川県加賀市の大聖寺までの540km、当時と同じ道程を2人1組で約20kmずつ、たすきをつなぎながら7月29日から8月11までの13泊14日で完歩する試みです。加賀市の4つの県立高校（加賀聖城、大聖寺、大聖寺実業、加賀）をはじめ、一般申込みや沿道の友情歩行も含めると1,000人を超える参加がありました。



義を再発信したい」と言います。「参勤交代うおーく」を盛り上げるべく、その前哨戦として7月21日（日）、石川県立加賀聖城高校にて「参勤交代を科学する」をテーマに「地域連携教科横断プロジェクト型学習」が行われました。英・国・数理・社体の6教科6名の教師と「仮想の学校 平和町高校」を創設し、教科横断実践に取り組む前田健志先生のもとに、加賀・金沢・福井の国公私立7校から25名の生徒が集いました。同校第2弾となった授業の当日の様を追います。

「参勤交代を科学する」参勤交代うおーくを盛り上げよう」授業の流れ

朝礼 英語

重松佳樹先生（東大赤門ゼミナール）

重松 グッドモーニング！（以下、英語を意訳）皆さん、初めて顔を合わせると思うので、授業に入る前にすこりくでアイスブレイクしましょう。今日は本物の古銭を用意しました。サイコロを振って、銭をもらったり払ったりしながら、日本橋から大聖寺を目指しましょう。

生徒 日本橋、蕨（わらび）、桶川、熊谷、本庄……。えっ、忍者が出てきて5枚も盗られるの？ 高崎、松井田、軽井沢、小諸でソバを食べて1枚払う。お金なくなる！



重松 English, please.

生徒 大聖寺、very far!

重松 参勤交代を外国の方に説明するのは、なかなか難しい。すこりくで遊びながら紹介してみてください。

1時間目 数学

村上孝有先生（私立金沢高校）

村上 令和の参勤交代うおーくはさまざまな課題があるなか、目前に実施が迫っています。江戸時代の大名もたくさん悩みを抱えていたと思います。過去と現在を対比して、数学的な力を使って課題を整理し、令和のヒントにしたいと思います。

まず、江戸時代はどんな問題があったと思いますか？ 青色の付箋に書き出して下さい。スマホを使ってもいいですよ。大切なのは質よりも量。こんなこと言ったらバカにされるかなとか、恥ずかしいかなとか、まったく関係ありません。批判は厳禁。空想でも調べたことでも、とにかくたくさん書いて。

では次に、今回の参勤交代うおーくの課題を黄色の付箋に書き出して下さい。うおーくで実際に歩く人も



この中にいると思います。歩き手として、あるいは責任者や保護者の立場なら、どんな不安がありますか？

青も黄色もたくさん出てきましたね。では、班で共有して似たような付箋を重ねて下さい。そして、グループで発表されます。ここで、数学の力が発揮されます。数学で習った「集合」の概念を使って整理しましょう。（中略）

江戸と令和の参勤交代、それぞれの課題を洗い出すなかで、重なっているところがありましたね。当時の人がどのように参勤交代を成功させたのか、歴史を知ることと令和の課題解決の糸口が見つかると思います。

2時間目 歴史公民

宮崎嵩啓先生（金沢大学附属高校）

宮崎 参勤交代の過去と現在に通じる課題、いっぱい挙がっていたね。何があった？

生徒 熱中症、荷物が重い、人手が足りない、お金がかかる！

宮崎 うん、そうだね。ちょっと想像してみよう。今日、みんな、ここまで来て来た？ 参勤交代して来た？ 生徒 またまた先生。

宮崎 江戸時代はもちろん車も電車もないよね。人間は1日どれくらい歩けると思う？

生徒 40 km？ 200 km？

宮崎 ここ加賀聖城高校から金津高校（福井県）まで13 km。小松市から来た人いる？ そこまで25 km。金沢から来た人は？ 45 kmだね。歩ける？

生徒 無理、無理。

宮崎 日本橋から大聖寺まで540 km。14日で参勤交代してたらから

生徒 1日38 km。きつっ！



宮崎 キツイよね。なんで昔の人たちはそんなに根詰めて歩くの？ 日数かけちゃだめ？ 日数かけると、どういふことが起こる？

生徒 宿代がかかる。

宮崎 大聖寺藩は3000人程の行列で、3000人が1泊すると、今の貨幣価値で1000万円かかっていました。

生徒 うへー！

宮崎 もう歩かしくない！

この後、授業は「持参すべきアイテムを10個厳選せよ！」、そして「そのアイテム、江戸時代にもあった？」と展開され、ラストは「荷物をできるだけ軽くするための先人の知恵」で締められました。

3時間目 理科

東拓郎先生（石川県立金沢錦丘高校）

導入

東 今日日は体を動かす理科です。参勤交代では自分の荷物だけじゃなくて、いろいろ運ばないといけないよね。両手で重いものを持つのは、結構きついと思います。そこで考えられたのが、天秤棒です。今日は、実際に天秤棒を作ってみましょう。

私の義父母は能登の出身で、若い頃、天秤棒で魚を運んでいたそうです。義父母が当時と同じ竹棒や紐、



袋を用意してくれました。魚の代わりは、砂袋（1kg×3）です。3つなので、左右の天秤がアンバランスになると思います。紐の長さ、紐をかける位置、担ぎ方、これらを工夫して、5班に分かれて最も楽に担げる天秤棒を競いましょう。（中略）

東 一番優秀だった班の天秤棒を力学的に分析します。前に出てきて、

肩から紐を吊るしたところまで、左右の長さを図ってみます。感覚で楽なポイントを探していったと思うけど、左右が等しいところが一番負担がからないポイントとなります。砂袋を吊るした紐の長さ、これは実は関係ありません。大事なのは力の大きさと左右の長さ、なんだよね。そしてもう一つ。今、肩に3キロ

かかっていますが、左右の紐を両手で持つと負荷が分散されます。両手で持つことで、上向きの力を足している。みんなもやってみて、劇的に変わるから。

4時間目 保健体育

神保徹先生（石川県立寺井高校）

神保 体育と参勤交代、一体何のつながりがあるんだろう？ そう、答えは一つ、歩くこと。この絵を見て。どんな風に歩いている？ 右手右足、左手左足が一緒に出るね。長い距離を楽に歩く、日本古来の「なんば歩き」です。2軸で歩くことで体余計な負担がかかりません。

江戸時代までは誰もがこの歩き方でしたが、明治になり日本軍がイギリス軍の歩行方法を取り入れるなど、日本人の歩き方が西欧化しました。でも、現代において「なんば歩き」を活用して記録を残した陸上選手がいます。短距離の末續慎吾選手やマラソンの高橋尚子選手です。

また、東京の公立高校バスケット部は「なんば歩き」を取り入れたことで、インターハイ出



場を獲得しました。じゃあ、歩いてみよう！ 腕はあまり振らずに、重心は一定に。

5時間目 国語

坂本侑大先生（福井県立金津高校）

坂本 今日、学びを盛り込んで、参勤交代うおーく」を盛り上げるためのリーフレットを作成しよう！

リーフレット表

坂本 まずはターゲットをしっかりと考えて。誰に渡すと盛り上がるか、男性、女性、中学生……。ターゲットは何を求めている？ 伝えたいことは何？ 日本語と英語でキャッチコピーを作って、外国の方にもアピールしましょう。（坂本先生と重松先生から、日英の広告やキャッチコピーの例が多く示されました）

リーフレット裏

坂本 ワークシートに各教科で学んだことや感想をまとめて、そこからリーフレットに掲載したい情報を精選しよう。

5名5班に分かれてグループワークが持たれ、班ごとに配られたiPadで写真を撮りに外へ出かける班もありました。出来上がった作品は班ごとにプレゼンが行われ、1番に選ばれたリーフレットは実際に印刷して外国の方にも配られました。

学校教育を変革せよ！ 地域に開かれた学びのつくり方。



仮想の学校 平和町高校
前田健志先生

公開授業「参勤交代を科学する」は、「楽しい学校・教員コンサルタント、Second」の前田健志先生が責任者を務める「仮想の学校、平和町高校」の実践です。平和町という名前は前田先生が9年勤務した金沢大学附属高校がある町名にちなんで名付けられました。

平和町高校は仮想なので、所在地はありません。ここでは学校の制約や教科を超えて教員が本当にやりたいたいと思う授業が高校の学習範囲内において自由に作られ、その授業を受けた生徒たちが自主的にやって来ます。

授業者として「仮想の学校、平和町高校」に参加を希望する教員や教育関係者は30人を超えて増え続け、楽しい学びを追究する教員ネットワークが構築されつつあります。授業は、毎回のテーマによって異なる教員編成が組まれています。

今回の授業は朝9時から夕方4時まで行われ、6人の先生方が異なる教科からの視点で「参勤交代」にアプローチしました。高校生たちは他校生と初めて顔を合わせ最初は緊張の面持ちでしたが、先生方の熱意に引けられ、教室は徐々に熱気を帯びていきました。

生徒たちが国公立の枠組みを超えて交流する機会が多くなさそうです。この場へ来なければ出会うことなかった高校生たちが対話をし、多様な発想や考え方に触れ、刺激を与えました。参加した高校生には「参勤交代うおーく応援アンバサダー」としての活

躍が期待され、実際に「加州大聖寺藩 参勤交代うおーく2019」の一部を自分の足で歩いた生徒もいます。今夏のプロジェクトで自分自身に自信を持った生徒もいるでしょう。高校生活での特別な一歩になったことは間違いありません。

地域と連携する学校は、どう創るのか？

梶原 教育改革では「社会に開かれた教育課程」ということで、昨年8月に「地域との協働による高等学校改革の推進について」が通知されました。地域コミュニティでは福祉・防犯・防災を基盤とした自治が進みつつありますが、担い手自体の不足が叫ばれ、地元の学校との連携を目指す動きが出てきています。

前田 「地域連携しろ」と上から降ってきてやらされたら、生徒も先生もやる気を失いかねません。堅い感じもしますし、まずはお互いを知って楽しむところから始めないと上手くいかないと思います。

僕は金沢大学附属高校へ赴任した時、石川県には一人も知り合いがいませんでした。仕事やプライベートで飲みに行く中で、だんだんとマイ・コミュニティができていきました。そのうち附属高校の先生方とせつなくなら地元で飲もうと、平和町の居酒屋へ行くようになりしました。通ううちにマスターと仲良くなり、常連さんと話が弾み、面白い人を紹介してもらいました。

そうして「一度授業に来てくださいよ。楽しい授業を心がけているので、来て思うことを何でも言ってく

ださい。どんな意見でも拾ってみせます」と誘って、地域の方に授業へ入ってもらいました。

昔は誰でも学校に出入りできましたが、今は厳しくなり学校のハードルが高くなってしまっています。まずはこのハードルを下げることから始めました。

梶原 私は大阪市で地域コミュニティの活動にも関わっているのですが、高校生を地域に迎え入れて、地域の防災訓練に関わってもらおうのいいの、それとも益踊りなのかと考えていました。

前田 それもいいですが、なかなか生徒に火がつかないような気がします。まだ堅い感じがしませんか？僕は、地元の方を授業に招いて、クラスを盛り上げて、「総合的な学習の時間」の地域課題研究の審査員になってもらったりしながら関係を築いていきました。

その後、平和町のハロウィンイベントに生徒がお化け役で参加したり、今年行った平和町清掃には50人の生徒が有志で集まりました。心理的ハードルを少し下





公開授業「参勤交代を科学する」のメンバー。左から前田先生、宮崎先生、東先生、坂本先生、神保先生、村上先生。



黄門様に扮して生徒の緊張を解した重松先生。

げてあげること、イベントへの参加率は非常に上がりました。そもそも子どもはイベントが好きです。そうやってハードルを下げた後、一緒にできることを増やしていったんです。

今年度には地元や企業の方と生徒がチームを組む「平和町プロジェクト」が始動しました。チームで現実の課題に向き合い解決していきます。大人の方には何かあった時、生徒を叱って頂いて大丈夫ですと伝えてあ

ります。生徒にとっても教員以外の大人にちゃんと叱ってもらえることは勉強になりますから。

梶原 平和町プロジェクトのコーディネーターやファシリテーターはどなたが担っているのですか？

前田 附属高校にとっての外部人材にあたる僕がやっています。コーディネーターやファシリテーターは第三者がいいと思います。何事も内部のみでやると、利害関係やプライドなどが邪魔して上手く進まなかったりします。

教科横断・課題解決の カリキュラム・マネジメント

梶原 事業主名の「Second」には、子どもたちと接する先生をファーストと位置づけ、リングで戦うボクサー（先生）をセコンドとして助ける、という意味が込められているそうですね。「先生を助ける」とは、具体的にどういうことですか？

前田 助けるとは、教員も生徒も楽しいと思える学校をつくること、つまり「生徒の心に火をつける」教育活動をサポートすることです。ある高校の地域課題を研究テーマにした「総合的な探求の時間」では、「全人類がリサーチャー！特定せよ！」という関西テレビの番組をヒントに、子どもがわくわくするミッションを提案しました。

授業案を作成した先生たちの思いやポリシーをそのまま残しつつ、生徒にどのように火をつけるかアドバイスしています。教員のねらいを噛み砕き、子どもを刺激する探求的な学びに落とし込んでいく作業が、教育コンサルタントである僕の仕事のひとつです。

梶原 文科省が発表した新学習指導要領では、カリキュラム・マネジメントにより、教科横断的・課題解決的なアプローチが求められています。しかし、学習指導要領にはその方法論は示されていません。現場の教員には戸惑いや動揺が広がっています。

前田 今年3月、「仮想の学校平和町高校」の第1弾となる「コンビニを科学する」平和町に理想のコンビニを創ろうと行い、5教科5名の教師と4校20名の生徒が金沢大学附属高校の教室に集いました。

高校生にとって身近なコンビニをテーマに、社会的アプローチなら価格決定のあり方について学んだのです。数学的アプローチなら利益を最大化する陳列を考える。理学的には視野角や目の構造、英語的には外国人目線からもよりよいコンビニを提案する。国語的にはポップと言葉の凝縮について…と多角的にコンビニを科学します。授業は計3時間30分、生徒の目は輝きました。「次は丸一日、いや合宿で」というほどの反響がありました。

この学びを受けて、生徒たちは普段の授業も他教科とつながるのではという視点で受けるようになり、有機的・構造的な学びを自ら行うようになります。1回で学べるコンテンツは限られています。学び方は確実に変えられると思います。総合的な学習の時間と各教科の授業の中間的な役割を担える可能性があります。ただただだけでなく、各教科が中心テーマにアプローチしているコアカリキュラム的な実践なのです。

生徒の関心事にアンテナを張る

前田 楽しい学びをするために大切なことは、マーケティングによって生徒の興味関心を把握する力です。生徒に火をつけられる先生は、普段から生徒が何に興味を持っているのかにもよくアンテナを張っています。観察したり質問したりして生徒のことを知ろうとする。相手の関心を把握した上で、どうやったら彼らの関心事と学んでほしい事をつなぐことができるのか。すべての教育活動において、生徒の興味関心を皮切りに学習指導要領で提示された単元にアプローチし、ただの面白いを超えた「わくわくする気持ち」を引き出すことを大事にしています。